

令和8年3月11日

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

春日井市立玉川小学校

校長 清川 勝彦

事業テーマ	子どもたちの笑顔があふれる学校づくりをめざして －遊びと体力向上がリンクする仕掛けづくり－	
取組の目的	① 児童の発達段階を考慮しながら、体育の授業を中心に、業前や放課など、学校の教育活動全体を通して、児童が主体となって運動に親しめる環境を作ることにより、生涯にわたって体を動かすことを楽しむ素地を養う。 ② 心と体を一体としてとらえ、心身の健康の保持増進を図ることにより、よりよい人間関係を構築しながら、心身の好ましい発達と体力向上を目指す。	
区分 (○印を付ける)	新規事業・ 継続事業 （総事業年数3年間、2年目）	
継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容	大変暑い夏の時期に行うボッチャ大会、ストラックアウト大会	
事業名	事業内容	実施時期
子どもたちの笑顔があふれる学校づくりをめざして－遊びと体力向上がリンクする仕掛けづくり－	① 子どもの体力向上・教員の力量向上を目指した体育の授業改善（外部講師の招聘） ② 先進校の視察 ③ 児童会や体育委員会が企画した「遊び」やさまざまなスポーツを体験し、主体的に行う活動に改良したり、環境を整備したりすることにより運動量を確保する活動に発展させる。	年間3回 適宜 通年
○子どもの体力向上・教員の力量向上を目指した体育の授業改善（外部講師の招聘）		
		筑波大学附属小学校より平川譲先生をお招きして、長縄跳びと腕支持運動の授業を見学した。平川先生の声かけや指導により子どもたちは少しずつできることが増え、目をキラキラと輝かせながら取り組んでいた。その後の教員向けの実技研修では、指導方法や体育理論を教えていただき、実際に体験することで、その後の体育の授業に生かすことができた。



愛知教育大学より成瀬麻美先生をお招きして、表現運動の授業を見学した。「にんじゃしゅぎょうを楽しもう！」というテーマのもと、子どもたちは忍者にふさわしい動きを考えたり全身を使って踊ったりして楽しみながら学ぶことができた。その後、教員を対象に実技研修を行い、新聞紙を使った表現運動の指導の仕方を学び、体育の授業で実践することができた。

NPO 法人プライズアウトの樋口明日美さんをお招きして、ハードルや高跳びなど陸上競技の指導をしていただいた。「創意と活力」のある学校づくりの予算から「ジャベボール」を購入し、子ども達は正しい投げ方のフォームを意識して、ボール投げの仕方を学ぶことができた。

○「遊び」の体験を児童がより主体的に行う活動



1～6年生の縦割り班で行う「なかよし遊び」や児童会、体育委員会が企画する「遊び」を通して、マレットゴルフやモルックなど新しい遊びを体験したり、大縄大会や増やし鬼大会などを行いいろいろな遊びを体験したりした。低学年の児童は、足の速いお兄さんやお姉さんと遊び必死に走り回っていた。

(取組の成果) 専門性の高い先生の授業を見ることで授業の進め方や声のかけ方などを学ぶことができた。また、指導方法のポイントやおすすめの教材を教えてください、普段の授業に生かすことができた。放課の時間になると、短なわとびで使用する「ジャンピングボード」を使って、二重跳びやあやとびを毎日練習する児童が増えた。また、高学年の児童は、低学年の児童が楽しめるように工夫することで思いやりの気持ちが育まれていた。

(課題) 大変暑い夏の時期に、エアコンのついた教室で過ごす習慣がつくと、涼しい季節になっても外で遊ぶ児童が減ってしまう。外遊びができる期間を大切にして、子どもたちが自主的に楽しめるような企画を考えさせ、外遊びの魅力を感じられる機会を作り、体力向上を目指していきたい。